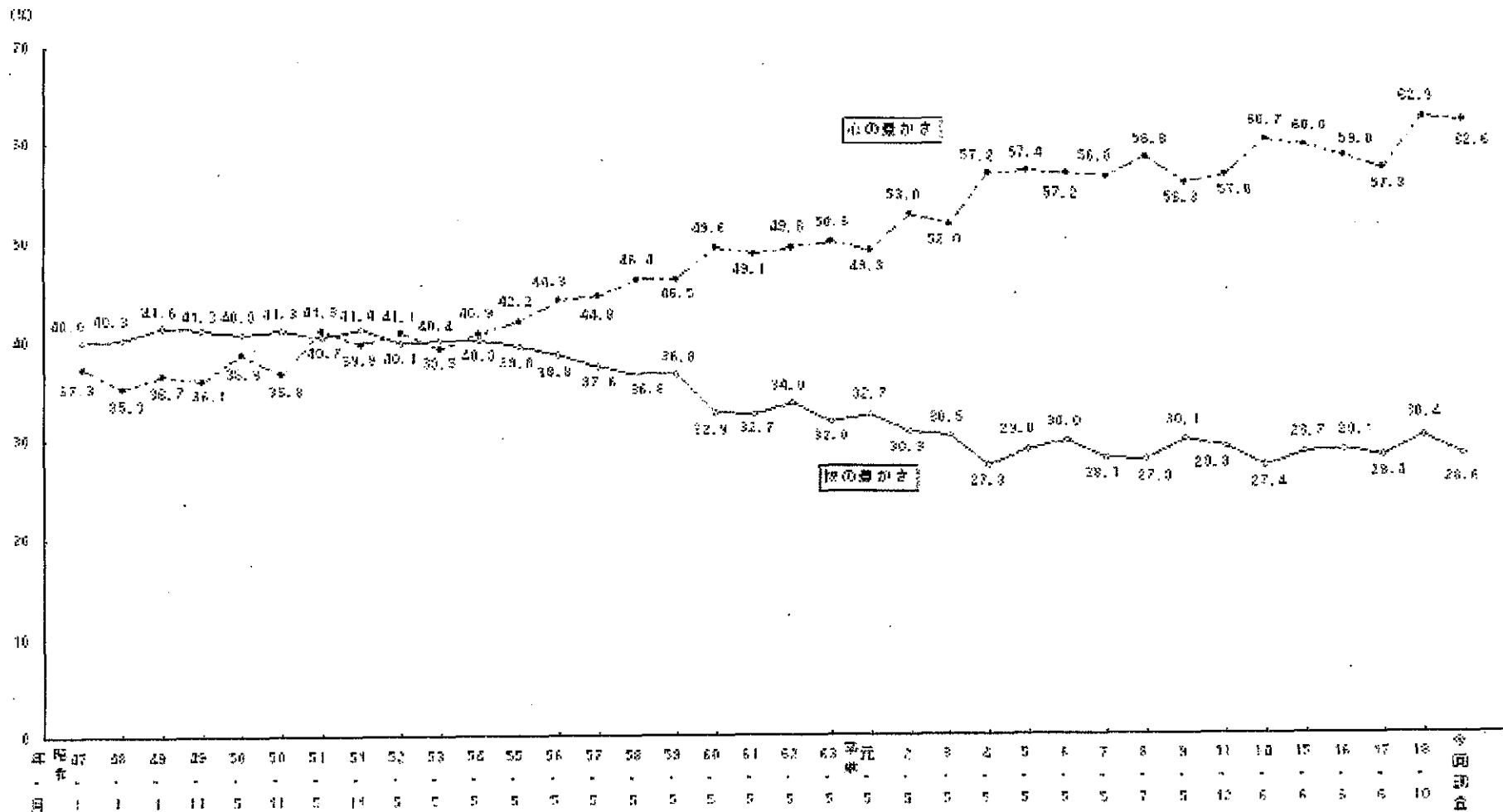


### (37)これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか(時系列)

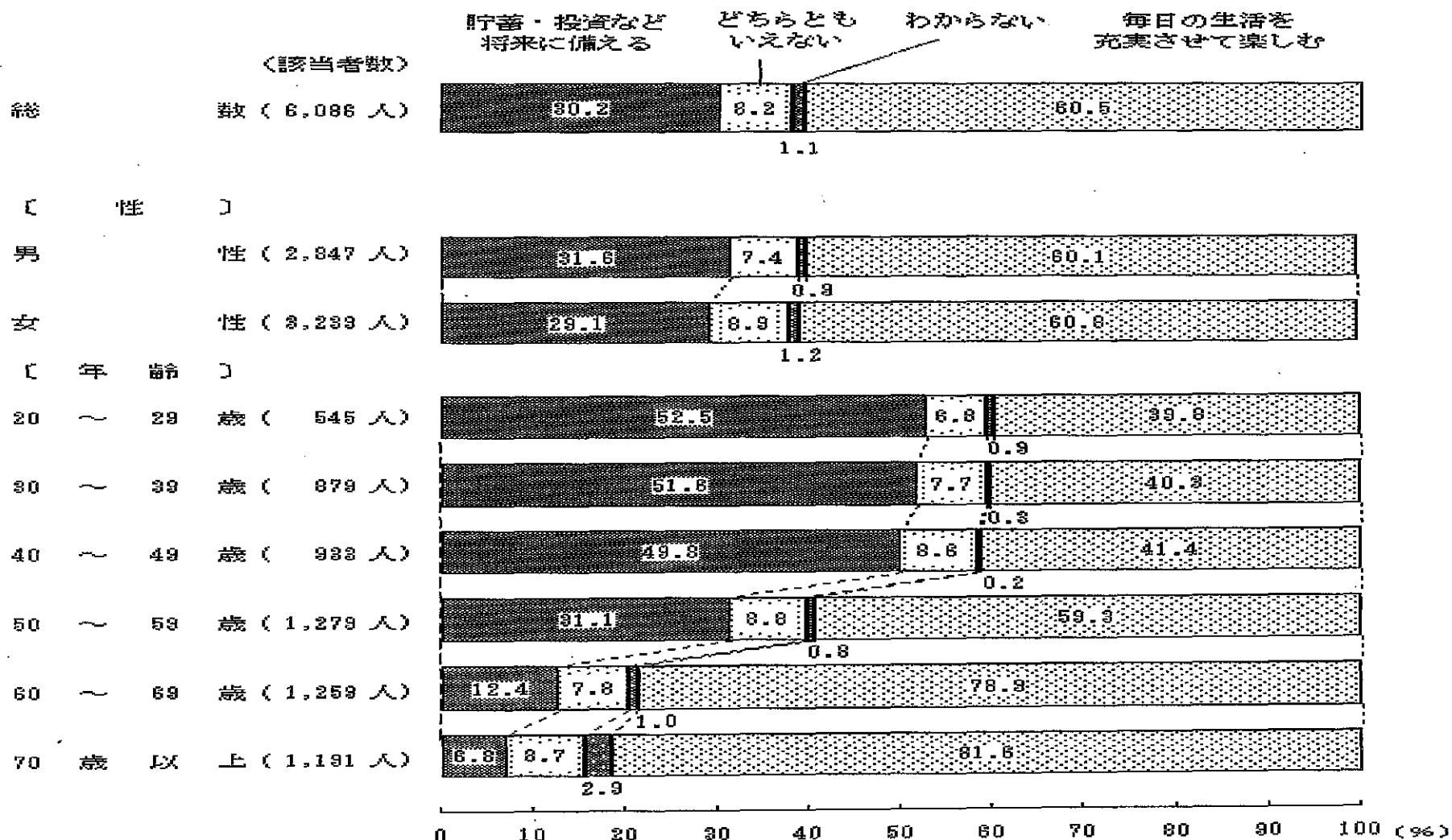
- 昭和50年代前半までは、心の豊かさよりも物の豊かさを求める傾向が強かったが、その後心の豊かさを求める傾向が強くなっている。
- 近年では、心の豊かさとした者の割合が、物の豊かさとした者の2倍以上となっている。



(注) これからは心の豊かさ → 「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活を営むことに重きを置きたい」  
 また物の豊かさ → 「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きを置きたい」

### (38) 将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむか(性・年齢別)

○ 40代以下の年齢層では、貯蓄・投資など将来に備えると答えた者が多いが、50代以上では毎日の生活を充実させて楽しむと答えた者が多く、年齢が高くなるほどその傾向は強くなっていく。

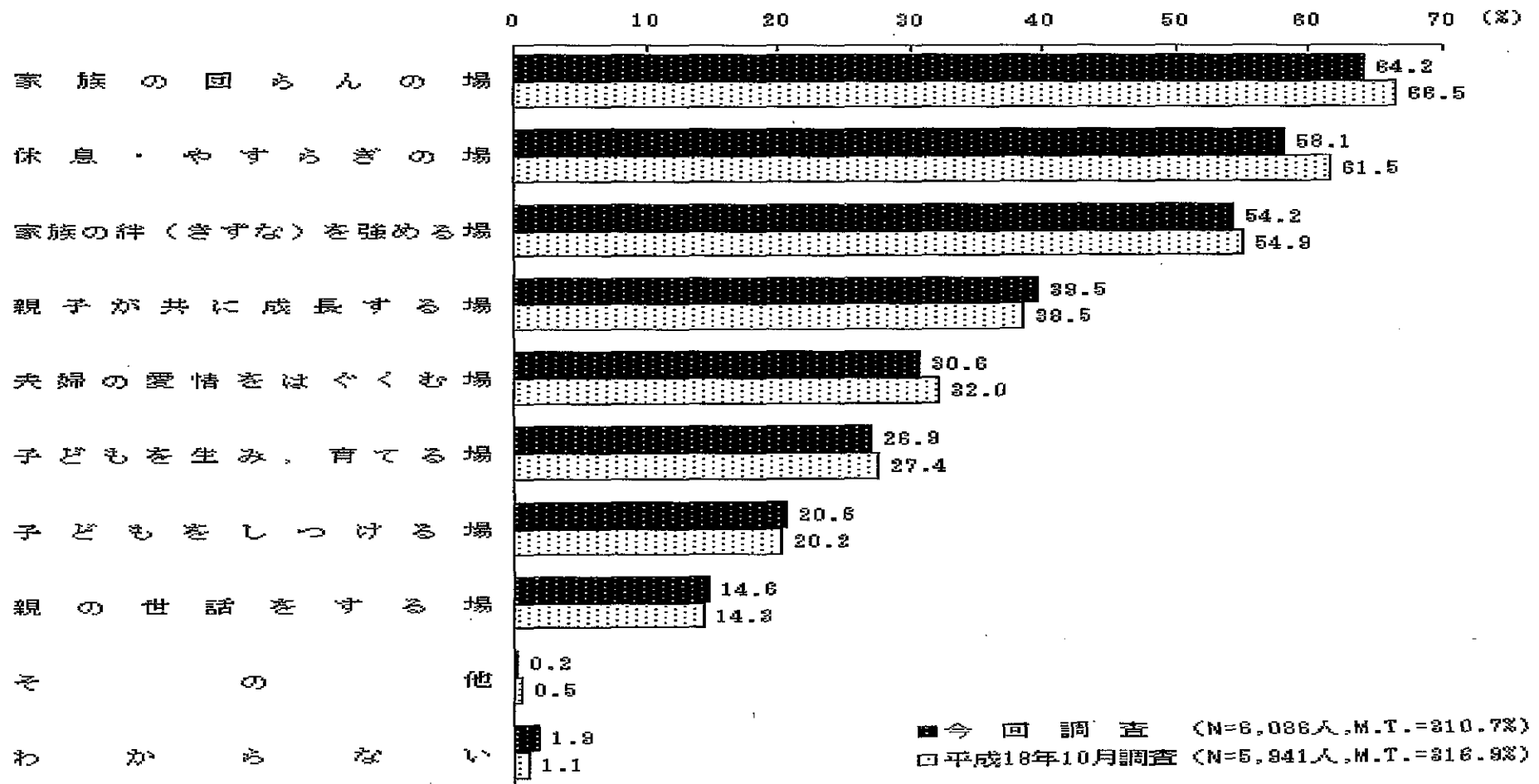


資料出所: 内閣府「平成19年度国民生活に関する世論調査」

## (39) 家庭の役割

- 家庭の役割は、家族の団らん、休息・やすらぎの場、家族の絆を強める場であるとする回答が過半数を超えている。
- 一方で、子どもを産み、育てる場、子どもをしつける場、親の世話をする場であるとする回答は相対的に少ない。

〈複数回答〉



資料出所:内閣府「平成19年度国民生活に関する世論調査」